

令和4年度 第2回経営協議会 議事録

日 時：令和4年10月28日（金）13：30～13：55

出席者：稲永議長（理事長）、木村委員（学長）、百岳委員（専務理事）、宮脇委員（理事）、
徳永委員、庄野委員、橋本委員（副学長）、岩重委員（副学長）、小松委員（副学長）、
秋山監事

場 所：長崎県立大学佐世保校第1会議室・第2会議室

○配付資料

【資料1】長崎県公立大学法人の第4期中期目標・中期計画（素案）について

【資料2】第4期中期目標（素案）のポイント（案）

【資料3】中期計画〔第4期〕（素案）の概要

【資料4】第4期中期目標及び中期計画（素案）全体版

○議 事

【審議事項】

(1) 第4期中期目標及び中期計画（素案）について

【審議事項（1）】第4期中期目標及び中期計画（素案）について

事務局から資料1～資料4に基づき説明を行い、素案のとおり県へ提出することを了承された。

（主な質疑等）

委 員）研究について、教員には論文の目標が課せられているか。

委 員）中期計画のうち研究に関する目標の達成水準として研究論文数等の数値目標が掲げられている。

委 員）今も「教養課程」はあるのか。

委 員）「教養課程」という名称はない。現在は、専門教育と全学共通の一般教育がある。以前の教養課程にあたるものを本学では「全学教育」とし、教養、語学、データサイエンス等が必修となっている。

平成3年の設置基準の大綱化により、教養教育は各大学で自由に弾力的に設定できるように大きく変わった。

委員) 情報セキュリティ産学共同研究センターに関する項目について注目している。

委員) 情報セキュリティ産学共同研究センターについては建物が完成し、教員が入り一部稼働し始めている。今後は広報活動も行っていく予定である。

センターの特徴的な点として、共同研究する企業の部屋（共同ラボ）を5部屋設置しており、企業の研究者が常駐できるようになっている。それにより、学生が直に危機管理を学ぶことができる。また、研究についても実際の課題等に接し、理解しながら、企業、教員、学生の3者の「共創」の場として発展させたいと考えている。

以 上